

2020年度用
小学校家庭教科書
内容解説資料

新教科書の観点別
編集の特色

文部科学省検定済教科書 小学校家庭科用 9 開隆堂 家庭502

わたしたちの
家庭科
5・6



開隆堂

1. 教育基本法(2条)との関連
 2. 学習指導要領との関連
 3. 学習指導上の効果や編成
 4. 配慮事項
 5. 造本や体裁
- の観点で新教科書の特色をまとめています。

開隆堂

本冊子は、「教科書発行者行動規範」に則って、配布を許可されているものです。

新教科書の観点別編集の特色

2020年度用「家庭」文部科学省検定済教科書 9 開隆堂 家庭 502

1. 教育基本法(2条)との関連

検討の観点	内容の特色	具体例
幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	○知識や技能の確実な習得のために、基礎・基本を重視し、段階的な題材が設定されている。 ○日常生活の中でなぜそうするのか、という問いかけを設定し、生活を科学的にみて、真理を探究する態度を養うことがめざされている。	○全般 ○全般
個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	○家庭生活に関する題材では家族や家庭の大切さを、消費生活に関する題材では働いて収入を得ることに記述し、家庭実践に結びつくようにした。 ○製作や実習では、児童の意欲を尊重し、つくりたいものを考えることを促している。さらに、長期休みには児童が課題を決めて家庭実践ができるようにチャレンジコーナーを設けている。 ○職業観を養い、社会に目を向けられるよう、実際に働いている方からのメッセージを各所に入れている。	○p8・9「家族の生活再発見」 ○p34～36「できるよ、家庭の仕事」 ○p72～74「いっしょにほっとタイム」 ○p58・59「生活を支えるお金と物」 ○p12～19, p21～27, p39～47, p50～53, p85～87, p105～111, p116～118「実習・製作」 ○p37, 57, 75, 103, 119「チャレンジコーナー」 ○p46, 61, 74, 89, 103, 123「キャリア教育のコラム」
正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	○地域の人々と共に協力して生活することについて記述している。 ○写真やイラスト等にも配慮し、実習などを通して、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしている。	○p120～123「共に生きる地域での生活」 ○全般
生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	○自然を大切に、環境を保全することの大切さに気付くことができるように、2つの題材を配置した。 ○持続可能な社会の構築の視点から、教科書全体にわたって環境マークやキャラクターによる環境の視点を入れ、環境保全に寄与する態度を身に付けることを目指している。	○p32, 33, 124, 125 など ○p13, 14, 17, 32, 71, 87, 96, 97, 103 など
伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	○和食や郷土料理、伝統的な民家や和服などを取り上げ、また日本各地の伝統文化の事例を充実させ、我が国の独自の文化と先人の工夫に気づき、愛着をもつとともに、日本人としての誇りが育まれるようにしている。 ○人とのふれ合いやかかわりを通して、感謝の気持ちを表したり、世代の異なる人や他国の人などを尊重したりする大切さがわかるようにした。	○p19, p49～53, p56・57, p68, 74, p94～96, p99, 113, 119, p130・131 など ○p76～79, p120～123

2. 学習指導要領との関連

【目標との関連】

検討の観点	内容の特色	具体例
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成する。	○生活の営みに係る見方・考え方の観点をいつでもそばに参照できるようなページを設けており、実践的・体験的な活動を通して生活をよりよくしようと工夫する資質・能力が育まれるよう配慮されている。	○p1・2「はじめよう！家庭科」
(1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	○家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能をスモールステップで積み上げ、身に付けられるつくりとなっている。	○全般

(2) 日常生活の中から問題を見だし、課題を設定し、主体的・対話的な深い学びを通して、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。	○生活を見つめることから問題を見だし課題を設定し、主体的にさまざまな解決方法を考え、実践し、実践を評価・改善して考えを発表するなどの対話的・深い学びを通して課題解決する力が養えるつくりとなっている。	○全般
(3) 家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。	○家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養うため、題材が工夫して配置されている。	○全般

【内容構成との関連】

検討の観点	内容の特色	具体例
内容構成に関する対応	○学習指導要領の「家庭科の目標及び内容」「指導計画の作成と内容の取扱い」が明確に整理され、個に応じた創意ある学習指導が展開できる構成である。 ○学習指導要領の内容AとB・C及びCとBを関連付けて学習できるように工夫して構成され、無理なく基礎・基本をおさえた学習ができるように、適切な配慮がされている。 ○生活の営みに係る見方・考え方に示された視点が全体を通して展開されている。 ○家庭科の3つの内容A, B, Cが空間軸と時間軸で整理されており、小学校における空間軸の視点である自己と家庭(地域)と時間軸の視点であるこれまでの生活及び現在(これから)をわかりやすく表に整理してある。	○全般 ○p28～33「整理・整とんで快適に」、p80～89「生活時間をマネジメント」「できることを増やしてクッキング」、p90～93「クリーン大作戦」 ○p1・2, 17, 30, 31, 32, 35, 36, 49, 63, 71, 73, 81, 92, 97, 101, 102, 122, 125, 126, 127 など ○p3～5「家庭科学習の進め方-成長していくために-」
ガイダンスや「A家族・家庭生活」の(4)生活の課題と実践に関する対応	○ガイダンスを冒頭のページに設けている。その際、第4学年までの学習をふり返り、家庭科との関連に気づき、2年間の学習の見直しを持たせられるつくりになっている。 ○「A家族・家庭生活」の課題と実践については児童が家庭や地域で実践できるよう実践のステップが掲載されているので計画を立てやすい。また課題例が複数紹介されていることも児童が実践のイメージを持ちやすく工夫されている。	○表紙～p2「これまでの学習を家庭科につなげよう」「はじめよう！家庭科」 ○p76～79「レッツ トライ生活の課題と実践」
家族・家庭生活に関する内容の充実への対応	○幼児または低学年や高齢者など異なる世代の人たちと関わり、地域の中で共に生活する視点で題材が構成されている。	○p72～74「いっしょにほっとタイム」、p120～123「共に生きる地域での生活」
食育の推進に関する内容の充実への対応	○食事の役割について考え、調理の基礎を習得し、栄養を考えた食事の献立を立てることができるように、ステップアップしながら学習が進められる題材構成になっている。 ○生活時間の工夫と朝食を関連付け、生活を総合的に捉えた望ましい題材であり、自らの生活習慣を見直し食生活を改善するなど、健康に過ごすための実践的な態度が育てられる。 ○折込みの「栄養素の働きによる食品の分類」は、食に関するどのページにも開いたまま活用できるように工夫されている。 ○「一汁三菜」や「和食」にもふれられており、地域の食材を取り入れた調理にも対応できるように、郷土食や伝統的な食文化が具体的に示されている。 ○食事のマナーや食物アレルギーについても取り上げられている。特に食物アレルギーに関しては、「いのちを守る」視点を重視している。	○p10～19「クッキングはじめの一步」、p48～56「食べて元気に」、p84～89「できることを増やしてクッキング」、p112～118「こんだてを工夫して」 ○p80～89「生活時間をマネジメント」「できることを増やしてクッキング」 ○p114, p134「栄養素の働きによる食品の分類」など ○p13「わが家の湯を使ったお茶のいれ方」、p19「ゆでる調理で和食にチャレンジ」、p49～53「ご飯とみそ汁」、p56, p57「各地に伝わるみそやみそ料理」、p74, p75「地域のおやつ」、p113「一汁三菜」、p119「雑煮、おせち料理」、p131「地域に伝わるおすしの例」 ○p16「食物アレルギーに注意」、p118「食事のマナー」

日本の生活文化に関する内容の充実への対応	○日本の生活文化について衣食住の各題材で取り上げられ、児童の生活する地域との関わりや先人の知恵から学ぶ視点で理解することができるようになっている。また、「伝統文化マーク」を日本の伝統的な生活文化を取り上げた箇所につけてわかりやすく示されている。	○p13「わかした湯を使ったお茶のいれ方」、p19「ゆでる調理で和食にチャレンジ」、p49～53「ご飯とみそ汁」、p56、p57「各地に伝わるみそやみそ料理」、p74、p75「地域のおやつ」、p92、p95「すだれ、よしず、打ち水」、p96「風鈴」、p99「ゆかた」、p113「一汁三菜」、p119「手ぬぐい、雑煮、おせち料理」、p131「地域に伝わるおすしの例」
消費者教育に関する内容の充実への対応	○消費者教育として基本的に共通することは大きく2つの題材として取り扱っているほか、2学年を通して他の題材の中でも学習内容と関連付けて取り扱い、消費者としての実践的態度が身に付けられるよう工夫されている。	○p28～33「整理・整とんで快適に」、p58～63「生活を支えるお金と物」
	○買い物の仕組みや消費者の役割について課題を持って活動できるよう工夫した構成になっている。	○p58～63「生活を支えるお金と物」
	○環境に配慮した買い物や物の使い方を考えることができ、購入するために必要な情報の収集・整理ができるつくりとなっている。SDGsの視点を根底にすえながら、児童が身近な生活の中で取り組めるように、具体的に示している。	○p28～33「整理・整とんで快適に」、p58～63「生活を支えるお金と物」、p124・125「持続可能な社会を生きる」
基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るための内容の充実への対応	○基礎的・基本的な知識や技能に関する内容が厳選して的確に記述され、易から難へと確実な習得ができるようによく工夫されている。	○全般
	○調理や製作などの実習手順図は、児童の視線の流れを考慮して見開きページを使って横に流れる記述で、基礎・基本を習得するための適切な配慮がされている。	○p14～16、22～25、29～33、34・35、44～47、50～53、62・63、86・87、92・93、100・101、108～111など
	○5学年最初の調理実習では、湯をわかしてゆでる調理題材を4つに細分化して構成・配列し、細かなステップを踏んで繰り返し学習して、早い段階から調理の基礎・基本の定着を図る工夫がなされていて適切である。	○p10～19「クッキングはじめの一步」
	○技能面の写真は詳細かつわかりやすくていねいに表現され、細部については拡大写真やイラストを添えるなどして、きわめて適切な配慮がされている。特に調理の手順については、すべて写真で示されているので、児童が状態を確認しながら作業を進められる。	○p10～19「クッキングはじめの一步」、p20～27「ソーイングはじめの一步」、p38～47「ミシンでソーイング」、p48～56「食べて元気に」、p84～89「できることを増やしてクッキング」、p104～111「生活を豊かにソーイング」、p112～118「こんだてを工夫して」
知識及び技能を実生活で活用するための内容の充実への対応	○学習で習得した知識及び技能などを実生活で活用するために「生活の課題と実践」として1つまたは2つの課題を設定し、実践的な活動を家庭や地域などで行えるページを設けている。	○p76～79「レッツ トライ生活の課題と実践」
	○各題材の最後には「生活に生かそう」の欄が設けてあり、家庭や地域などで学習で身に付いた知識や技能などを生活に生かすことのできる仕組みになっている。	○p19、27、33、36、47、56、63、67、71、74、83、89、93、97、102、111、118、123、125
生活の営みに係る見方・考え方と関連をはかるための対応	○生活の営みに係る見方・考え方を「生活の見方・考え方 4つの視点」として図化し、教科書全体にわたってマークやイラストで配置されており、一連の学習過程の中で「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせることのできる構成になっている。	○p1・2、17、30、31、32、35、36、49、63、71、73、81、92、97、101、102、122、125、126、127など

3. 学習指導上の効果や編成

検討の観点	内容の特色	具体例
児童の主体的・対話的な学習への工夫がなされているか。	○題材を通して見通しを持ち、生活の中から課題を見つけられるような本文の記述や課題が配置され、主体的に課題に取り組めるよう工夫がされている。また、題材の導入では、フォトランゲージの手法を用いながら児童がその題材での学習に興味・関心をもって取り組めるようになっている。	○p12、21・22、24、29～32、35・36、42、50、52、54～56、60、62、65～67、69～71、82、88、91、93、96・97、99、102、105・106、110、114、118「話し合おう、考えてみよう、発表しよう」など ○「フォトランゲージ」p10、20、28、34、38、48、58・59、64、68・69、72、80・81、84、90、94・95、98、104、112、120・121、124・125
	○児童同士で対話をしたり意見を交換できるような学習活動を多数取り入れており、児童同士や家族・身近な人たちとの会話を通して考えを明確にするなど児童自らの考えを広げて深められるような仕組みになっている。	○p7、18、22、27、29、31、32、36、42、62、63、67、73、74、83、91、102、105、107、110、122など多数
各項目に担当する授業時数及び各項目の履修学年への対応	○5学年(標準履修)は11題材、6学年は9題材が設定されているが、5学年は反復学習をして基礎・基本の定着を図るために題材が細かく設定されていて、5学年の年間60時間に対応している。6学年は5学年を基礎として工夫していく9題材で年間55時間の授業時数に対応できる。	○全般
段階的な題材の配列がされ、学年の順序性は適切で工夫されているか。	○基礎的・基本的な知識・技能をスモールステップで適切に習得できるよう配列されている。また題材が細かく区切られているので地域や学校事情等によって順序の組み換えがしやすく工夫されている。	○全般
内容の分量は適切であるか。	○各学年の題材内容の分量が適切に配列されている。	○全般
題材に魅力があり、多様な扱いができるか。	○住生活と環境を組み合わせた題材や、消費生活と環境を組み合わせた題材、家族・家庭生活と食生活を組み合わせた題材など地域や学校事情等に適合した使い方ができる。また題材の組み換えもしやすいつくりである。	○p28～32「整理・整とんで快適に」、p58～63「生活を支えるお金と物」、p80～89「生活時間をマネジメント」「できることを増やしてクッキング」、p124・125「持続可能な社会を生きる」など
題材の系統性は適切であるか。	○5年生11題材、6年生9題材が各学年のテーマのもとに、ストーリー性を考慮して題材配列されている。	○全般
	○各題材とも、基礎的・基本的内容の習得から応用・発展的な学習へと系統的に展開され、児童の思考の流れに沿っていて、教科の特徴が無理なく具体化されている。	○全般
言語活動が充実するような工夫がなされているか。	○実践的・体験的活動を通して、話し合いの活動や思考する活動、意見を述べる活動などさまざまな言語活動ができるようそれぞれの題材に配置されており、学んだ知識や技能を生活に生かす際に工夫する能力につながっている。また観察や実習の際の計画を立てる場面やレポート作成、考察・発表等の場面が学習過程の各所に設定されている。	○p18、42、107、122「計画表、計画を立てる」、p36「ふり返りカード」、p32「まとめよう」、p22、29、31、36、62、102、「話し合おう」、p27「グループで作品を紹介しよう」、p29「学校内の整理・整とんウォッチング」、p67「発表しよう」、p63「買い物名人3カ条」、p110「交流しよう、製作・活用報告書」、p91「学校内のよこれウォッチング」など多数
図表・写真・イラスト等は学習の内容に関連して適切に用いられているか。	○課題を解決するための手がかりや本文内容の理解を助ける資料が、効果的な表現や分量・大きさで示されている。	○p16、17、23、24、30、33、49、53、61、65、74、88、92、101、102、110など多数
各種マーク・キャラクター	○児童が関心や意欲を持って主体的に楽しく学習を進められるように、目立ちやすいマークが効果的に用いられている。また、キャラクターが各ページに登場して、疑問を投げかけたりつまづきやすい内容について注意を喚起したりして、学習上きわめて効果的である。	○p2、5、9、15、17、22、25、30、31、32、35、36、41、43、44、46、49、59、61、63、66、71、73、81、87、89、92、97、101、102、107、115、118、125、126
	○キャラクターのそばには「生活の見方・考え方4つの視点」のマークが付してあるものもあり、いつも生活の営みに係る4つの視点が意識できるよう工夫してある。	○17、30、31、32、35、46、63、66、71、73、81、92、97、101、102、115、126

現代的な話題や課題などを取り上げて、児童が関心を持って学習に取り組めるような工夫がなされているか（オリンピック・パラリンピックなど）。	○パラリンピック競技である「ブラインドサッカー」の普及に努める元サッカー日本代表の北澤豪さんや平昌オリンピックで活躍した羽生結弦選手や宇野昌磨選手の衣装デザイナーの伊藤聡美さんなどを取りあげ、児童が関心を持って学習に取り組めるようになっている。	○p123「障害者スポーツにかかわる人 北澤豪さん」 ○p43「衣装製作にかかわる人 デザイナー 伊藤聡美さん」 ○p130「スポーツの祭典—オリンピック・パラリンピック」
発展的に学習する内容の工夫がなされているか。	○発展的な学習内容には「発展マーク」を付して明確にしている。	○p117「発展マーク」
問題解決的な学習は、どのように扱われているか。	○全題材を通して①見つける・気づく→②わかる・できる→③生かす・深めるの順で学習を進めることによって、問題解決的な学習に取り組めるつくりが一貫している。	○p3「家庭科学習の進め方-成長していくために-」
URLの記載やQRコードの記載によって、学習に効果的なコンテンツの提供がなされているか。	○各題材にQRコードを記載することによって児童がより主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。	○p3, 7, 11, 13, 15, 17, 23, 25, 27, 39, 41, 43, 45, 47, 51, 53, 63, 65, 67, 69, 87, 97, 99, 101, 107, 109, 111, 117, 127, 129, 133, 136

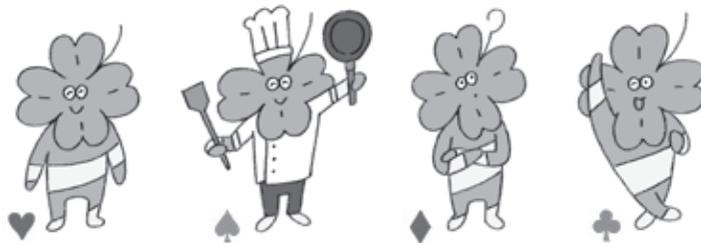
4. 配慮事項

検討の観点	内容の特色	具体例
中学校との連携への配慮がなされているか。	○小学校で学んだ学習をふり返り、中学校の学習に生かせるようチェック欄や領域ごとの中学校の学習内容が写真やイラストでわかりやすくまとめられている。	○p126-127「2年間の学習をふり返って、中学校の学習に生かそう」
特別の教科 道徳との連携についての配慮がなされているか。	○道徳に関連する内容には「関連マーク」を付している。	○p9, 30, 49, 73, 118
他教科との連携についての配慮がなされているか。	○各題材の他教科との関連する部分に「関連マーク」が付してある。 ○各ページのページ番号の横には、家庭科に関する語句の英単語が記載されており、外国語等との関連も配慮されている。	○p9, 12, 13, 14, 17, 18, 21, 28, 30, 33, 49, 50, 54, 55, 56, 60, 62, 65, 66, 69, 70, 73, 88, 95, 96, 100, 114, 116, 118 など多数 ○p8 ~ 36, p38 ~ 56, p58 ~ 74, p80 ~ 102, p104 ~ 118, p120 ~ 125, p135・136
地域性への配慮がなされているか。	○衣食住などの内容を関連させ、総合的に題材が構成されていて、地域での児童の生活を関連付けた学習が展開できる。	○全般
	○児童の目が地域に向き、地域の人々との関わり大切さが認識できるように具体的な活動例が盛り込まれている。	○p120 ~ 123「共に生きる地域での生活」
	○地域性を生かした食材や調理例（郷土食）や伝統文化が取り上げられ、それぞれの地域での工夫がしやすい。	○p19, 49, 53, 56, 57, 74, 75, 89, 119
安全・防災教育への配慮がなされているか。	○調理実習・製作実習等の際の安全について各題材の適する場所に配置されている。また、「安全マーク」が付してある。	○p6・7, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 21, 39, 45, 51, 52, 56, 62, 70, 86, 92, 107 など「安全マーク」
	○防災について、日ごろの備えについて家族で話し合う場面や防災用品の備えについての記述などの配慮がされている。	○p7, 37, 119
	○防災に関する事項には「防災マーク」が付してある。	○p6・7, 21, 37, 51, 119
環境・共生への配慮がなされているか。	○各題材の学習内容と環境を関連付けて取り扱い、実践的態度が身に付けられるように細かい配慮がされている。環境に配慮する視点の箇所には「環境マーク」が付されている。	○p13, 14, 17, 32, 33, 37, 62, 71, 87, 96, 97, 103 など「環境マーク」など
	○環境を考えて物を生かして使う工夫の3つの視点（3R）に「断る」「修理して使う」の視点も加えた5Rが明確に記述されている。	○p32・33「物を生かして使う工夫-ごみを減らす3Rと5R」
	○男女の区別や障がいの有無に関わらず、子どもから高齢者まですべての人が平等な関係であることを前提にして、記述や課題の設定・写真や図が工夫されている。	○p8・9, 10, 34, 35, 58・59, 72, 84, 120・121 など

日本の伝統的な文化についての配慮がなされているか。	○衣食住などの内容を関連させ、日本の伝統的な文化に関する内容を多数掲載している。また、伝統文化を紹介している箇所には「伝統マーク」を付している。	○p13「わかしだ湯を使ったお茶のいれ方」、p19「ゆでる調理で和食にチャレンジ」、p49～53「ご飯とみそ汁」、p56, p57「各地に伝わるみそやみそ料理」、p74, p75「地域のおやつ」、p92, p95「すだれ、よしず、打ち水」、p96「風鈴」、p99「ゆかた」、p113「一汁三菜」、p119「手ぬぐい、雑煮、おせち料理」、p130・131「わたしたちの生活の中にある伝統文化」
キャリア教育についての配慮がなされているか。	○随所で仕事をしている人のイラストや写真を取りあげ、キャリア教育につながるよう工夫されている。	○p8, 43, 58・59, 61, 64, 68, 74, 89, 94, 98, 103, 120・121, 123
英語教育への配慮がなされているか。	○各ページの下部に家庭科の内容に関する用語の英単語が記載されている。また「家庭科の用語 英語ではどういうの？」ではまとめて記載されており、QRコードを読み取ると英単語のリスニングもできる。	○全般 ○p135-136「家庭科の用語 英語ではどういうの？」
プログラミング教育への配慮がなされているか。	○身の回りにある電化製品のプログラミングについて紹介されている。	○p128-129「生活の中のプログラミング」
コンピュータや情報通信ネットワークの活用がなされているか。	○コンピュータや情報通信ネットワークを使用して情報収集したり学んだことを発表したりして活用する場面が多数掲載されている。	○p29, 67, 110, 116, 128・129
カラーユニバーサルデザインに関する配慮がなされているか。	○カラーバリエーションの観点から、弱視の子どもたちに読み取りやすい配慮がされている。	○全般
特別支援の観点に配慮がなされているか。	○実習・製作を横流れに統一して作業手順を明確にしている。 ○項目名、学習のめあてなど、それぞれ学習内容が呼応できるような紙面構成や配置などから、スムーズに関連性が理解できるようになっている。	○p11, 12 ~ 16, p22 ~ 25, p29 ~ 33, p34・35, p39 ~ 41, p44 ~ 47, p50 ~ 53, p62・63, p73, 83, p86・87, p91 ~ 93, p100・101, p108・109, p111, 116, p122・123
	○本文と参考、資料等の区分も明確になっていて、児童に伝わり、見開きページが有効に活用されていて、扱いやすい教科書となっている。	○全般

5. 造本や体裁

検討の観点	内容の特色
印刷は鮮明で見やすいものであるか。	○印刷は鮮明で、カラー効果が生かされている。 ○再生紙を使用すると共に、植物性のインクを使用していて、環境に配慮している。
製本は堅牢で使いやすいものであるか。	○製本は極めて堅牢で、表紙には水に強い加工が施され、長期の使用に耐えるものとなっている。
文字の書体や大きさは、児童の発達段階を考慮したものであるか。	○読みやすい書体・大きさと児童の発達段階に考慮したものとなっている。
文章表現は適切であるか。表現の工夫はなされているか。	○です・ます調のソフトな表現で、簡潔かつ正確に表記されている。 ○5・6学年配当の漢字については、見開きページごとの初出箇所にふりがなをつけている。 ○重要語句は太字（ゴシック体）にして、表記のめりはりをつけている。 ○本文では文節が途中で途切れないような分かち書きが意識され、児童が読みやすくなるよう工夫されている。 ○大小の題材名は、課題意識を高める表現になっている。
環境に配慮されているか。	○印刷に使うインクは植物性のインクを使用していて、環境に配慮している。
表紙は魅力的なものであるか。	○主人公の児童が生活を見つめ、地域と関わって成長していく姿が楽しく夢のある表紙で提示されていて、ガイダンスの入り口として活用できる。
レイアウトは見やすく、学習しやすい工夫がなされているか。	○実習や製作は横流れに展開されており、児童が主体的に学べるレイアウトになっている。 ○特別な支援を要する児童にとって、学習の流れが統一的に示されていることによって、安心して落ち着いて学習に取り組むことができる。



開隆堂出版株式会社

<http://www.kairyudo.co.jp/>

教授用資料A1

本社	〒113-8608	東京都文京区向丘1-13-1	TEL. 03-5684-6111
北海道支社	〒060-0061	札幌市中央区南一条西6丁目11番地	TEL. 011-231-0403
東北支社	〒983-0852	仙台市宮城野区榴岡4丁目3-10	TEL. 022-742-1213
名古屋支社	〒464-0802	名古屋市千種区星が丘元町14-4	TEL. 052-789-1741
大阪支社	〒550-0013	大阪市西区新町2-10-16	TEL. 06-6531-5782
九州支社	〒810-0075	福岡市中央区港2-1-5	TEL. 092-733-0174